

医書 ご担当者様 お世話になっております。

サンルクスより新刊のご案内になります。

がんでもママになるのをあきらめない 卵巣組織凍結という選択肢

2/20発売

■著者:京野廣一(きょうの・こういち) ■定価:2700円+税
■ISBN:978-4-86113-700-6 ■体裁:A5版/並製 2C 100ページ 東9ミリ
■発行:サンルクス株式会社 ■発売:サンクチュアリ出版

卵巣組織凍結で「妊娠する力」は守ることができる!

0歳からでも可能!

女性の妊娠する力のことを医学的には妊孕性(にんようせい)といいます。がんの治療では、化学療法や放射線療法の副作用によって卵巣が機能を失い、妊孕性が損なわれる可能性があります。欧米では、妊孕性を温存するために、治療前に、卵子や卵巣組織を凍結して保存することが一般的になってきていますが、日本ではそうした療法がまだ普及しているとはいえ、医療関係者であっても知識不足の方が少なくないのが実情です。本書は卵子の凍結保存、また、世界では標準療法となりつつある卵巣組織凍結について、最新情報を詳しく解説しています。

コンテンツ

- 妊娠できなくなる可能性があるがん治療とは?
- 卵子や卵巣を凍結保存して妊孕性を守る
- 卵巣組織凍結は世界ではすでに確立した医療技術
- すぐに受けられるのが卵巣組織凍結のメリット
- 小児がんでは卵巣組織凍結が妊孕性温存の唯一の選択肢
- 卵巣組織凍結には「緩慢凍結法」を選ぶべき理由



Profile

京野廣一(きょうの・こういち)

医療法人社団 レディースクリニック京野 理事長/日本生殖医学会 生殖医療専門医

日本の卵子凍結保存、卵巣凍結保存の第一人者。福島県立医科大学卒業後、東北大学医学部産科学婦人科学教室入局。2001年に日本初の卵子凍結(緩慢凍結法)による妊娠・出産に成功。2007年、京野アトククリニック仙台開院。世界各国の妊孕性温存のリーダーから技術を学び、がん治療前の妊孕性温存の普及を目指して、実践と全国的な普及活動を展開している。2012年、京野アトククリニック高輪開院。2016年には、日本初の卵巣組織凍結保存センター「HOPE」を東京・品川に設立。

新刊
2/20
発売予定

番線印

がんでもママになるのをあきらめない 卵巣組織凍結という選択肢

2/20発売

■著者:京野廣一(きょうの・こういち) ■定価:2700円+税 ■ISBN:978-4-86113-700-6
■発行:サンルクス株式会社 ■発売:サンクチュアリ出版
※発売後の出荷は注文扱いとなります。

ご注文数

ご担当者様名

新刊委託締切

冊

様

2月5日

条件:新刊委託

サンクチュアリ出版
注文受付 FAX 050-3606-4734

FAXの配信停止は左のFAX番号までご連絡下さい。
(お手続きには、1週間程度お時間を) 頂戴する場合がございます。

2021/2